

徳川家慶の江戸本郷邸に臨んだ時、召されて天目茶碗を焼いた。安政三年二月十一日歿し、弟道忠統を受けたが、明治三十二年道忠の歿するに及んで、大樋の正系断絶した。

**オホヒコノアトカクシ** 大ひこの跡隠し 能登の奥郡では古く霜月廿四日小豆粥を食し、之を大ひこのあとかくしというたが、その義は明らかでない。

**オホビシイケ** 大菱池 シオビ 河北郡湯涌郷に属する部落。邑名は小菱池村との境に大池といふのがあるに因る。

**オホヒチヨウザエモン** 大樋長左衛門 初代長左衛門は明暦中京都二條瓦町に住し、樂一入齋吉兵衛に師事して製陶を學び、寛文六年茶人千宗室に伴はれて金澤に來り、大樋町に住して樂燒製造の事に従つた。是より大樋を氏とし、正徳二年正月廿一日歿、玄明一乘居士と諡せられ、月心寺に葬る。また二代長左衛門は前田吉徳宗辰二侯の命を奉じて製陶し、延享四年八月廿三日歿。三代以後は勤兵衛と稱した。

**オホヒノハス** 大樋の蓮 金澤の北端河北郡大樋は蓮を名産とし、七八月花盛の頃には雅客こゝに集りて白花の開くを見、又茶屋に憩うて蓮飯を賞翫した。蓮植栽の起原は詳かでないが、藩政中水田を潰すことを禁じたから、甚だしく擴張するに至らなかつた。

**オホヒマチ** 大樋町 金澤の町名。元は河北郡大樋村の地内で、郡奉行の支配であつたが、町建となつた爲、文政四年二月町奉行支配となり、大樋町と私稱した。但し地所は郡地で、地子米を村に收めて居たが、明治十二年金澤の町地に編入せられた。

**オホヒマチバナ** 大樋町端 金澤を通過する北陸道の北端である。その郊外に茶屋があつて、汁飴と蓮飯を名物としたが、市街の擴張するに従ひ、遂に街尾となつた。

**オホヒヤキ** 大樋焼 金澤大樋で製した樂燒の陶器。寛文六年前田綱紀が京都の茶人千宗室を招いた時、陶工長左衛門も従つて下り、宗室の考按に基づいて種々の茗器を製したに初る。その釉藥赤黄色にして光輝を發するを飴釉と稱し、又黒樂も造つた。後に日用雜器をも製し、藩末には系外のもの十餘家を數へるに至つた。

**オホヒヤマジヨウ** 覆山城 能美郡中、峠に在つた。越登賀三州志に、塹土居の遺狀尙存するとある。

**オホヒヨウタンヤマ** 大瓢蘆山 石川郡瀬波川の上流南方にある山。高さ一五四九米。山體は第三紀層。

**オホビヨウブ** 大屏風 能美郡別山の頂上から御前岳に向かふ路線のすぐ西方に近く立つてゐる岩塊をいふ。

**オホヒラ** 大平 羽咋郡鉦打郷に屬する部落。

**オホヒラガハ** 大平川 羽咋郡大平の大平坂から出で、鳥越嶺で熊木川に落合ふ。流程四軒弱。

**オホヒラカベ** 大平壁 能美郡別山の頂から西南に向かうて別山室平に至る路線の東方に立つ大岩塊をいふ。このあたりは地勢急坂をなしてハヒマツが殊に多い。

**オホヒラサハ** 大平澤 オホヒ 石川郡富樫庄に屬する部落。

**オホヒラサマノジヨウ** 大平左馬允 前田

利家に仕へ、利長の豊前巖石城攻撃の際には先登して秀吉から賞せられ、祿遂に千百俵に至り、御旗奉行に任じ、金の番取衆に班した。その嫡統は第七代金太郎百五十石を領し、文化十二年三月四日出奔の上立歸つて知行を召放された。

**オホヒラサマノジヨウ** 大平左馬允 又左馬介に作る。諱は秀照。父の名も左馬允。初め祿千俵を受けたが、後五百五十石となつた。慶長十九年大坂冬の役に足輕頭を勤め、御旗奉行を兼ね、夏役には二一丸で首一つを獲た。

**オホヒラユキタダ** 大平以忠 通稱鐵次郎。梅千助・金太夫・欣太夫。安永九年新番に列し、天明二年新知百石を得て組外に進み、前田重政の近習に任じ、三年八月廿八日遠島の刑に處せられ、四年三月十一日配所に赴き、五年十一月免されて歸り、又新番に復し、寛政六年十二月父直右衛門恒政の遺知百石を受けて組外となり、諸職を經、文化八年五十石を加へ、定番御馬廻に班して遂に物頭並に進み、文政九年六十一歳を以て歿した。子此母歸つて知行を召放された。

**オホブンギヨウ** 大分校 江沼郡能美境に屬する部落。明治中に至り、小分校と併せて分校とした。

**オホマチ** 大町 鹿島郡大町保に屬する部落。越登賀三州志來因概覽に、永正十三年三月吉日長谷我野院僧正義範在判で、大町村公文所に宛てた公文永代寄進の一通があつたと記する。

**オホマチ** 大町 鳳至郡穴水郷之内大屋庄

に屬する部落。隣邑川島と共に惣稱して穴水ともいふ。天文元年七月諸橋六郷南北棟敷注文に廿五間(軒)穴水大町とあつて、當時尙微たる形勢であつたことが知られる。

**オホマチ** 大町 鳳至郡本郷に屬する部落。明治中に至り東大町と改稱した。

**オホマチ** 大町 鳳至郡浦上の内の小字。

**オホマチ** 大町 珠洲郡大町泥木の内の小字。

**オホマチガハ** 大町川 鹿島郡四柳の東方山間から出で、大町を經、西流して邑知瀨に入る。

**オホマチジヨウ** 大町城 鳳至郡本郷の大町に在つた。城主は明らかでない。

**オホマチドロノキ** 大町泥木 珠洲郡直郷に屬する部落。もとは大町と泥木と二邑であつた。

**オホマチホ** 大町保 鹿島郡にあつた。承久三年注進の能登國田數日録に、『大町保、壹町七段七、承久元年檢注定』とある。後世亦大町保がある。

**オホマチホ** 大町保 鹿島郡に屬し、藩政時代では大町村のみを含んで居た。

**オホマチヤクシ** 大町薬師 ↓ライコウジ 來迎寺(鳳至)。

**オホマルヤマ** 大丸山 鳳至郡内保のうち根子屋の南にある山。高さ三一九米。

**オホマルヤマ** 大丸山 鳳至郡太田川部落の北方なる海岸の山。高さ七一米。山體第三紀層。

**オホミガハ** 大海川 羽咋郡の寶達山から源を發し、寶達小字野田の南方に至つて南折し、上河合の東南で澤川の地藏谷から發する

# オホ